

2022年2月期 第2四半期 決算補足説明資料

株式会社関通
(証券コード：9326)

2021年10月14日



I. 会社概要	3
II. サービス概要	7
III. 関通の強み	16
IV. 2022年2月期 第2四半期決算概要	22
V. 2022年2月期 業績予想	36
VI. 中期経営計画	41
[ご参考] SDGs への取組み	51

I. 会社概要

1. 会社概要

EC・通販物流サービスを中心とした物流サービス事業、倉庫管理システム「クラウドトーマス」の提供を中心としたITオートメーション事業を展開。

会社名	株式会社関通	
事業所	本社 大阪府東大阪市長田1丁目8-13 大阪支社 大阪府大阪市北区大深町1-1LINKS UMEDA 8F WeWork LINKS UMEDA 東京システム開発部 東京都千代田区神田佐久町3-37-1 文唱堂ビル 5F 物流拠点 関西12拠点、関東4拠点 [総面積 52,400坪 (2021年8月31日現在)]	
設立	1986年4月	
代表者	代表取締役社長 達城久裕	
資本金	784百万円 (2021年8月31日現在)	
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ	
従業員数	299名 (2021年8月31日現在・常用雇用者数)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物流サービス事業 <ul style="list-style-type: none"> EC・通販物流支援サービス 楽天スーパーロジスティクスサービス 受注管理業務代行サービス 物流コンサルティングサービス ■ ITオートメーション事業 <ul style="list-style-type: none"> 倉庫管理システム「クラウドトーマス」 チェックリストシステム「アニー」 ■ その他の事業 	



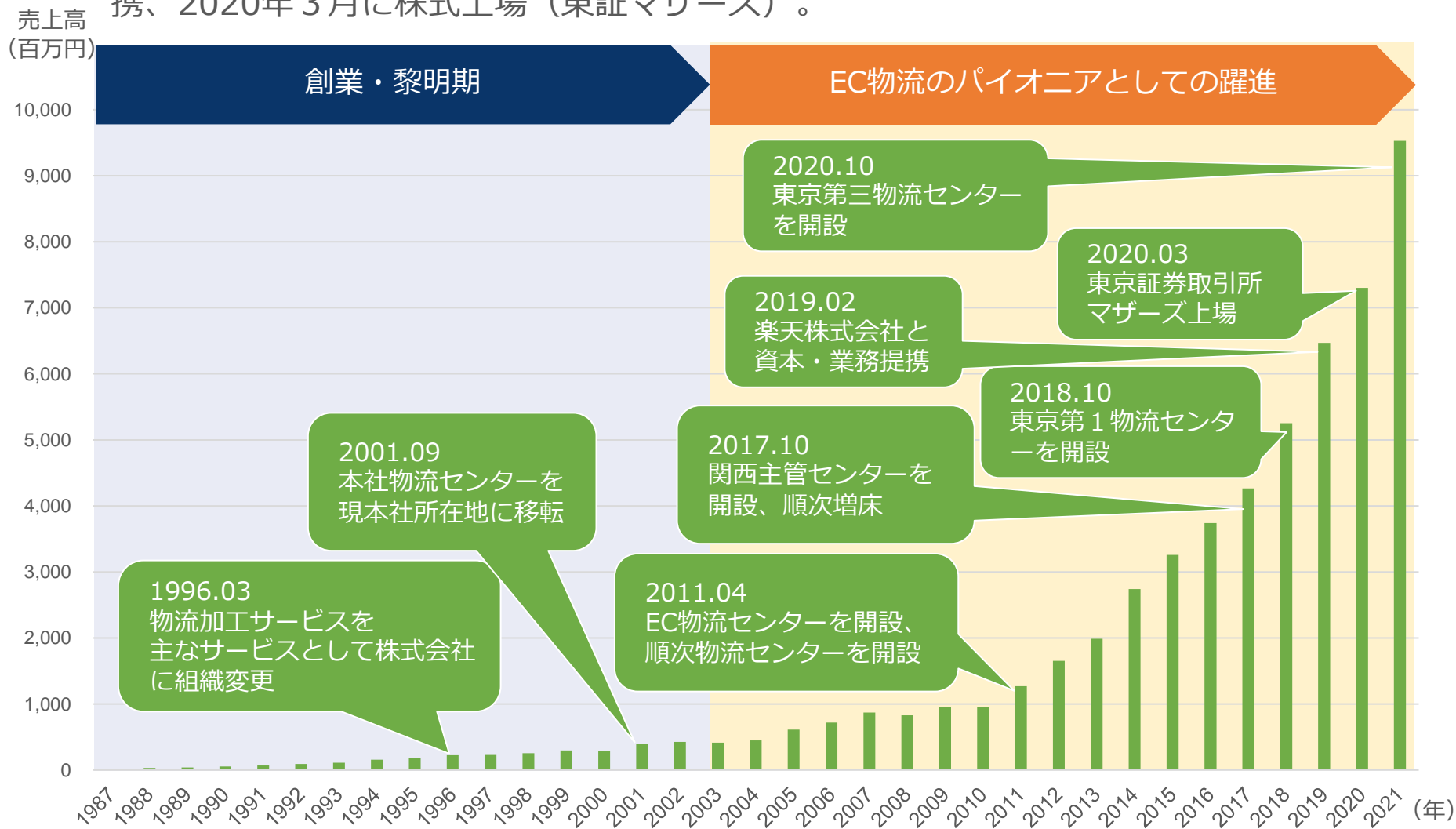
関西主管センター



東京第一物流センター

2. 沿革

EC市場の成長と歩調を合わせ2010年代に急成長、2019年2月に楽天と資本・業務提携、2020年3月に株式上場（東証マザーズ）。



3. 当社のサービス概要

EC・通販物流支援サービスに取り組む中で成果があった活動を新しいサービスとして提供。

**楽天スーパー
ロジスティクスサービス**

ITオートメーション事業
[クラウドトーマス、アニー等]

きめ細やかな物流サービスを評価

物流現場で生まれた効率化システム

EC・通販物流支援サービス

煩雑な事務のアウトソーシング

ノウハウと現場環境のパッケージ化

外国人技能実習生を即戦力化

**受注管理業務
代行サービス**

**物流コンサル
ティングサービス**

**外国人技能実習生
教育サービス**

Ⅱ. サービス概要

1. 物流サービス事業

EC通販物流支援サービス

当社の業績を牽引する主力事業

商品の入庫、在庫管理及び出庫等の配送センター業務をEコマース事業者や通販事業者などのお客様から受託し、**お客様に代わって配送センター業務を行うサービス。**

インターネット通販の黎明期である**2000年頃から業務を開始し、出荷個数の増加に対応。**
 多くの有名ショップの成長を支え、**年間約1,100万個（2021年2月期実績）**の出荷を担う。

ショップ成長対応

ドミナント戦略や関通独自のWMSを使用し、**効率的に量に対応**

出荷増減対応

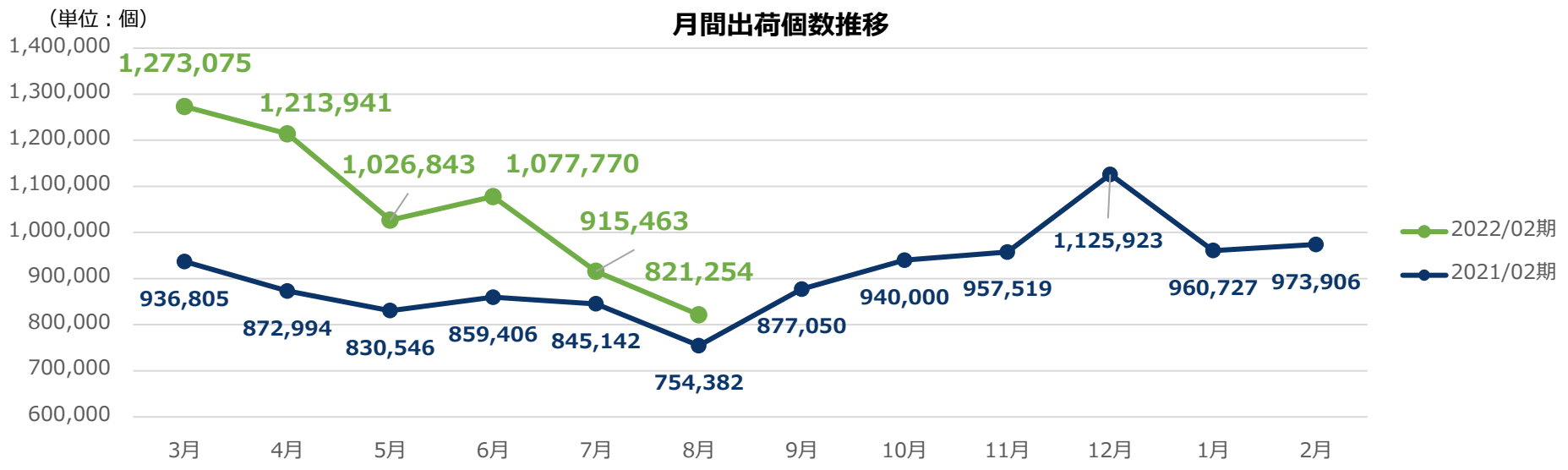
物流ボリュームに応じた**タイムリーな増減対応**

在庫管理課題解決

関通独自のWMS「クラウドトーマス」で**在庫管理の効率化を実現**

出荷精度の改善

出荷ミスをもっと抑え、**た物流サービスを提供**



(注) 出荷個数の数値は、集計方法に一部誤りがありましたので、遡及して修正しております。

1. 物流サービス事業

楽天スーパーロジスティクスサービス

「顧客毎のニーズにこたえるオーダーメイド型のきめ細やかな物流サービス」が評価され、EC物流の健全化を目的に「ワンデリバリー構想」を掲げる楽天株式会社と2019年2月資本・業務提携。

約14,700坪の関西主管センター（兵庫県尼崎市）の約4,000坪を「楽天スーパーロジスティクス」の拠点「Rakuten Fulfillment Center Amagasaki」として運営。

従来どおり当社が獲得したお客様に加え、「楽天スーパーロジスティクス」にお申込みのお客様に対しても、当社からサービスを提供。

「楽天スーパーロジスティクス」のルールに馴染まないサービスは、当社が直接ご提供することも可能に。

冷凍冷蔵での物流サービスの強化

EC・通販物流支援サービスで、今後の市場成長が期待される冷凍冷蔵食品のEC物流に対応する物流サービスの提供を強化。

当社の冷凍冷蔵での物流サービスは、冷凍冷蔵倉庫では稀な、バラピッキングでの対応が可能で、卸などのtoBの業務だけでなく、toCにも対応しており、食品での物流では多く見られるアソートでの梱包にも対応しております。

海外企業の日本EC参入をサポート

中国を始めとする海外企業様の日本EC市場への参入をサポートするため、EC・通販物流支援サービスの海外企業様向けサービスとして「ワンス」の提供を開始。輸入、通関業務から商品の入荷～出荷などの物流業務はもちろん、日本国内での受注管理業務などにも対応しております。

1. 物流サービス事業

受注管理業務代行サービス

EC・通販物流支援サービスの上流工程に位置し、Eコマースにおけるご購入者様の注文内容を確認し、電子メール対応や入金確認、出荷指示データ作成等の業務をお客様から受託。

「e.can」ご利用のお客様には「e.can Plus」として、受注処理の自動化を行うことで、成長に対応するバックヤードを構築。また、一部業務はマンマの「ヤンゴンBPOセンター」を活用、効率化を推進。



(注) 「ヤンゴンBPOセンター」は、当社と業務委託契約を締結する外注先企業が運営しております。

物流コンサルティングサービス

EC・通販物流支援サービスで培われたノウハウを活用し、物流現場改善による生産性向上及び効率化等を目的としたコンサルティングサービスを提供。

生産性向上のための物流業務の自動化機器も併せてご提案。

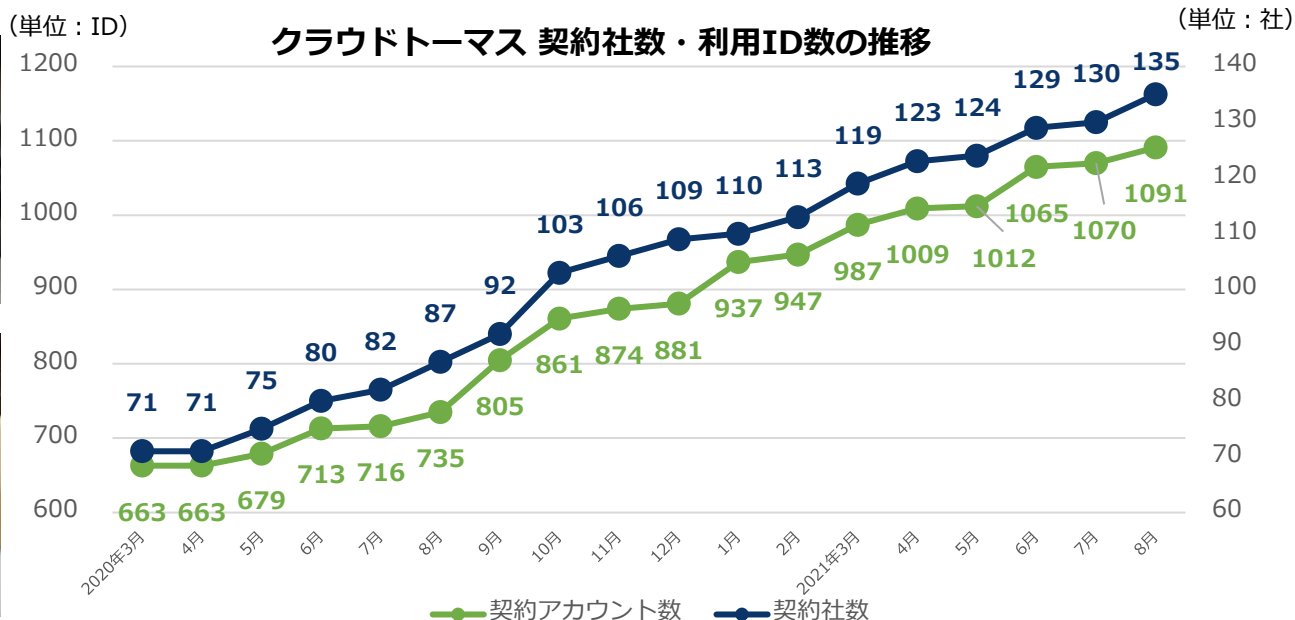
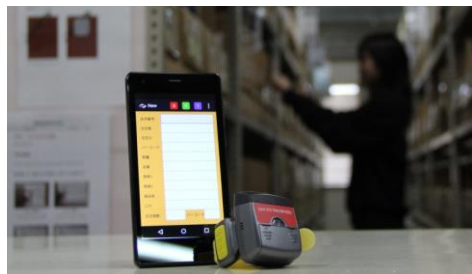


2. ITオートメーション事業

物流品質を支える自社開発倉庫管理システム「クラウドトーマス」、現場作業の改善から生まれたチェックシステム「アニー」など、当社の物流現場から生まれたソフトウェアの外販事業

クラウド型倉庫管理システム「クラウドトーマス」

物流センター内に保管されている商品（在庫）の数を正確に把握するとともに、庫内業務の効率化を図るためのソフトウェア。入荷から出荷、庫内での棚移動を含めすべての在庫の動きをバーコードとそれを読み取るスキャナにより物理的に管理することで、入出庫管理やロケーション管理をし、**正確な在庫管理、誤出荷の防止、庫内業務の標準化、効率化の実現に貢献する。**

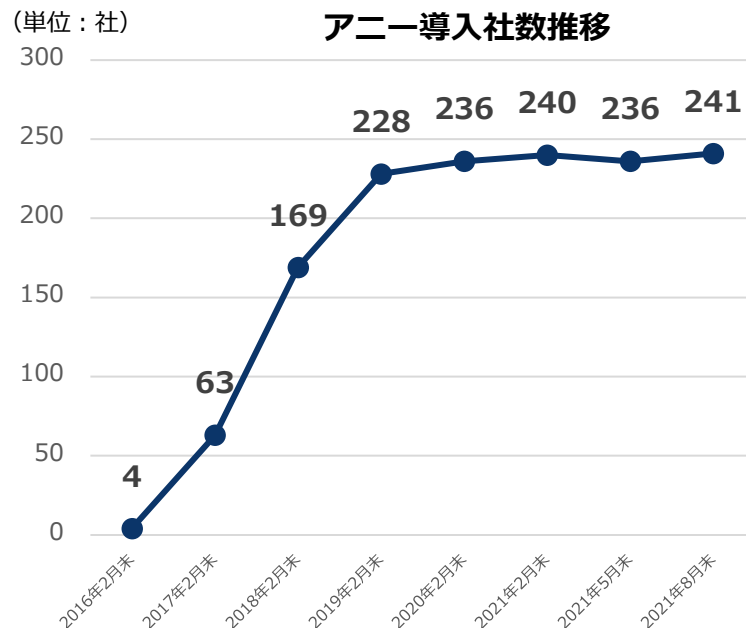
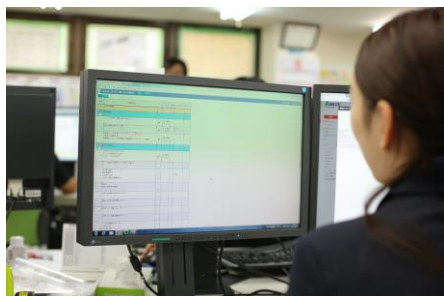
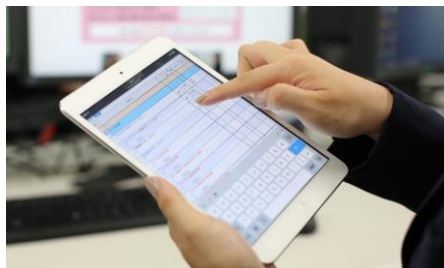


2. ITオートメーション事業

物流品質を支える自社開発倉庫管理システム「クラウドトーマス」、現場作業の改善から生まれたチェックリストシステム「アニー」など、当社の物流現場から生まれたソフトウェアの外販事業

チェックリストシステム「アニー」

クラウド型のチェックリストシステム。当社がチェックリストの運用を改善し続けた結果、生み出されたソフトウェア。チェックリストに作業の手順を登録することで作業の抜け漏れがなくなり、**業務品質を落とさず作業手順やノウハウが「見える化」**される。新人教育にも利用可能。



2. ITオートメーション事業

当社で成果があった取組みをサービス化することで、既存のお客様の満足度向上と、新たなお客様の獲得を行っております。その中で、2021年2月期から、新サービスとして「e.can（イーキャン）」、「ippo!（イッポ!）」の提供を開始しました。

受注処理自動化システム「e.can（イーキャン）」

ネットショップ受注処理の
受注伝票の書き換え作業を
自動化するシステム



ECサイトの受注処理（注文受付から、物流現場の出荷作業用のデータ生成、カスタマーへの完了報告等の事務作業）内で発生する、受注処理全般を自動化するシステムで、Hamee株式会社様が提供するクラウド型ECプラットフォーム「ネクストエンジン」の公式アプリケーションとなっております。

RPA作成代行サービス「ippo!（イッポ!）」



RPA で自動化した成功事例を多数もつ関通と、RPAツールである「BizRobo!」が連携し、RPA作成の代行、業務の自動化を支援する「ippo!（イッポ!）」をサービスとして提供。RPAを導入しようとする企業様や、導入したが上手く使えていない企業様のサポートをさせていただくサービスとなっております。

3. その他の事業

障がい者向け教育サービス

- 障がいをお持ちのお子様向けの放課後等デイサービスの教室運営
発達障がいをお持ちの児童の学童保育と呼ばれる放課後デイサービスを通じて発達に課題を抱えるお子さまの成長と自立をサポートしています。
- 障がいをお持ちの方向けの就労移行支援事業所の運営
一般企業への就職を目指す発達障がいをお持ちの方に、就職に必要な知識やスキル向上のサポートしています。



育児支援サービス

- 保育園の運営
乳幼児を育てる地域の皆様にご利用いただける企業主導型保育園を運営し、多様な働き方をサポートしています。



外国人技能実習生教育サービス

外国人技能実習生教育サービスは、当社がミャンマーから外国人技能実習生（以下「実習生」という。）受入れを行う際に、ミャンマーで行った現地教育カリキュラムを、お客様にもご利用いただくサービスです。
実習生の受入れを希望されているお客様に、現地ミャンマーでお客様が希望される職種にあった、就業上必要となる技能訓練のほか、会社の文化等の教育を行い、日本で就業時に即戦力の人材として採用いただける教育を行います。



4. 最近のトピック

3温度帯対応の冷凍冷蔵倉庫併設の「東京主管センター」を 埼玉県新座市にて開設を決定

E コマース市場での関東圏での物量に対応し、冷凍冷蔵倉庫へのニーズにも対応するため、新たに埼玉県新座市にて冷凍・冷蔵・定温の3温度帯での管理が対応可能な冷凍冷蔵倉庫（約2,300坪）を兼ね備えた「東京主管センター（約8,300坪）」を2022年2月に開設することを決定いたしました。この開設により、新座市を中心とした4拠点、合計坪数 約19,200坪の関東でのドミナント戦略をさらに強化し、関東での冷凍冷蔵倉庫へのニーズに対応してまいります。



東京主管センター
約8,300坪



東京第三物流センター
約2,800坪



東京第四物流センター
約3,400坪



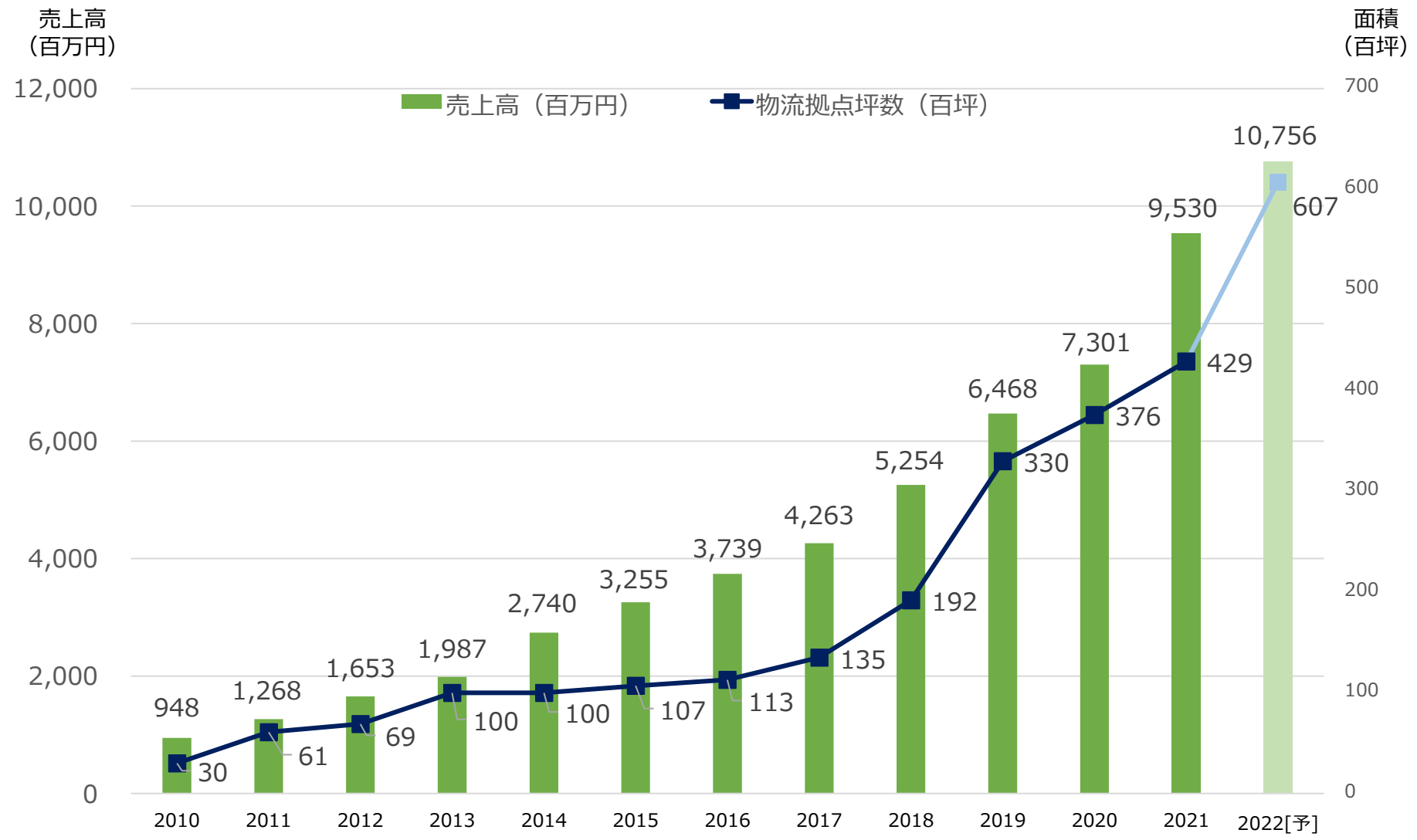
東京第一物流センター
約4,700坪



Ⅲ. 関通の強み

1. 厚い顧客基盤

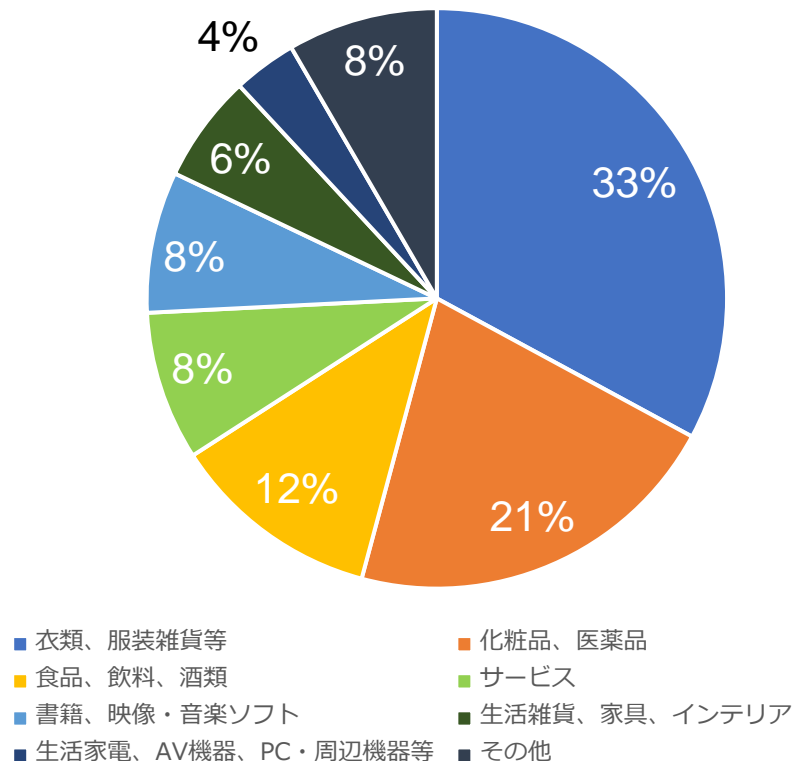
新規のお客様獲得だけでなく、既存のお客様との安定したお取引が当社の成長を牽引。



1. 厚い顧客基盤

多様な業種のお客様の物流を支援

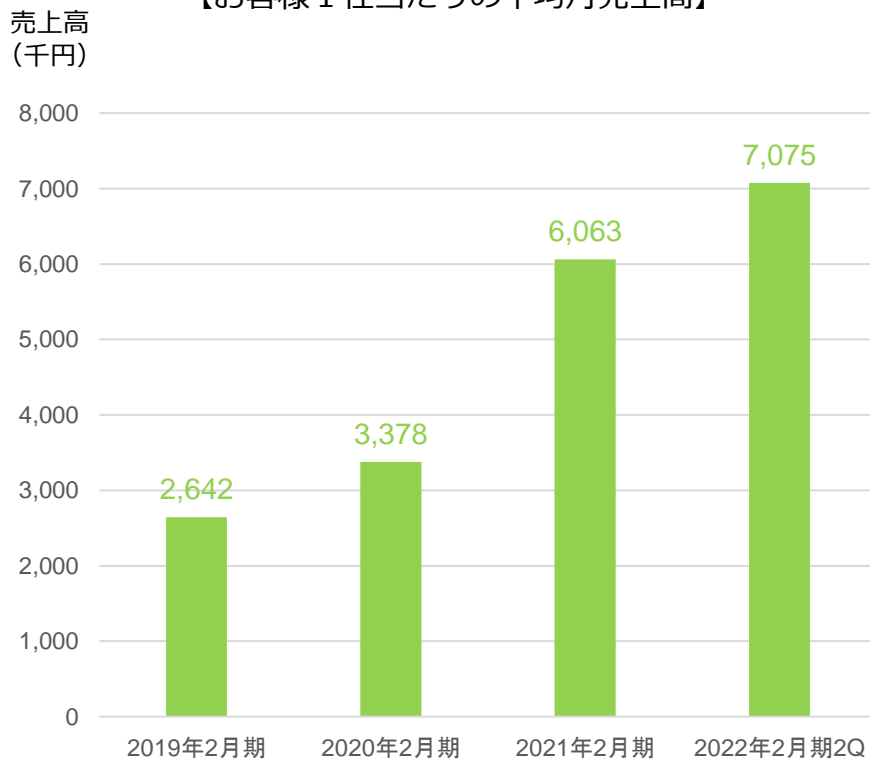
【業種別売上高構成比】（2022年2月期2Q実績）



※2022年2月期第2四半期売上高実績上位100社から算出。
 ※楽天スーパーロジスティクスサービスは「サービス」に分類。
 ※P46の経済産業省統計の分類と同一になるよう分類。

お客様からの業務受託の売上規模は年々拡大。

【お客様1社当たりの平均月売上高】

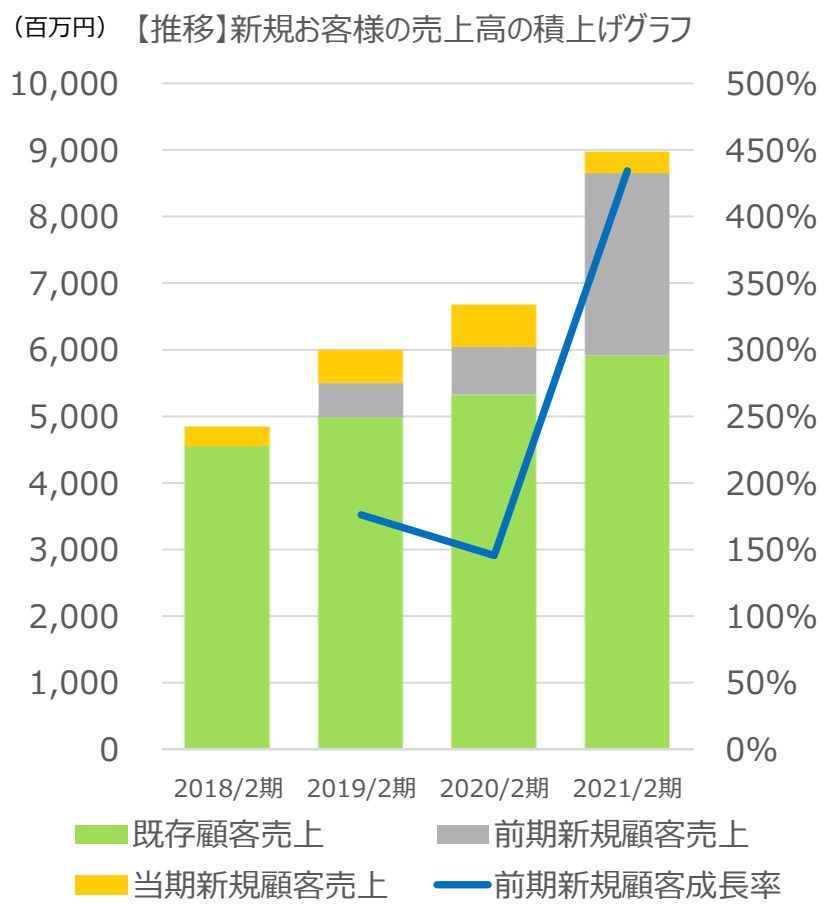


※2022年2月期第2四半期売上高実績上位100社から算出。
 ※楽天スーパーロジスティクスサービスに係る売上高は除いて算出。

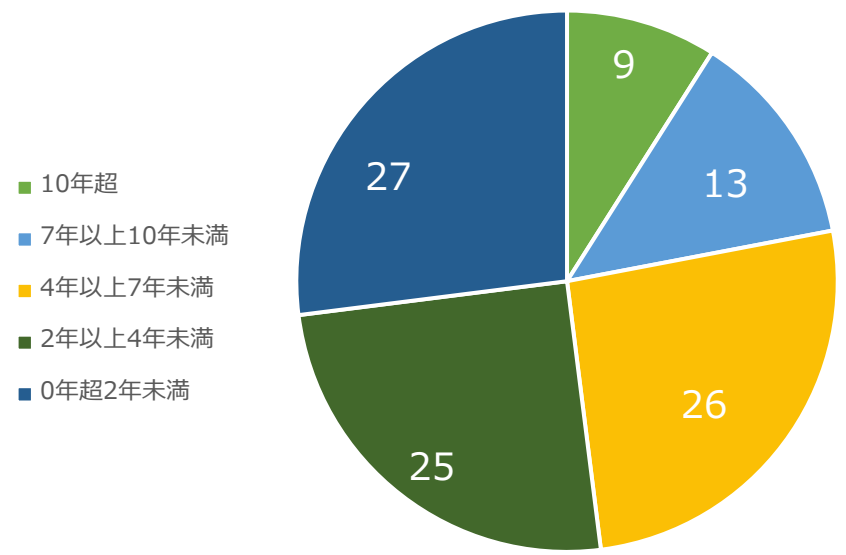
1. 厚い顧客基盤

毎年の新規のお客様が当社の成長を支える。

新規お客様が増加傾向である一方で、4年以上のお取引があるお客様が約半数。長期にわたってお客様の物流を支援。



【お客様との契約年数】 (2021年2月期実績)



※2021年2月期 売上高実績上位100社から算出

※EC・通販物流支援サービスの売上高を表示

2. 顧客開拓力

「学べる倉庫見学会」「Webマーケティング」などを通じた顧客開拓力。

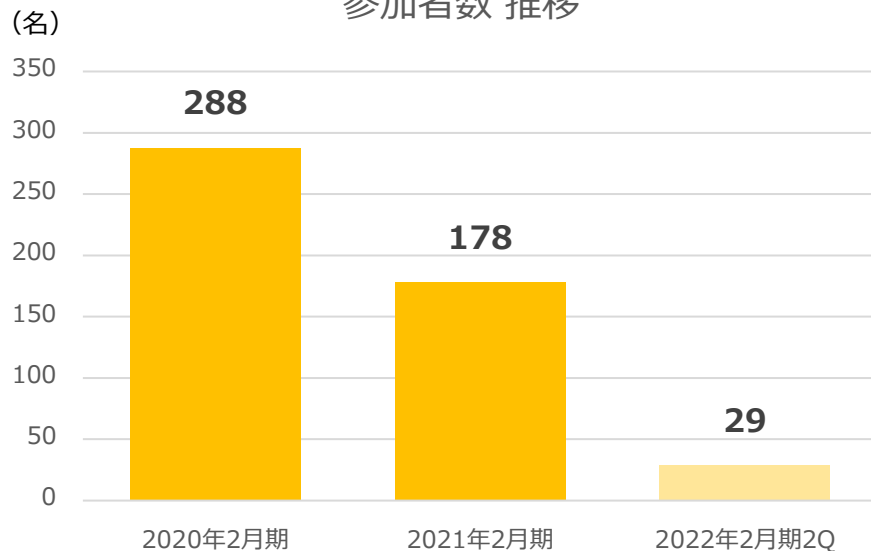
学べる倉庫見学会（セミナー開催）

2014年から開始し、参加人数は年間200名を超える「学べる倉庫見学会」をはじめ、「オンライン倉庫見学会」をスタートし、また「物流改善教室」の動画配信を強化しました。当社に来社いただかなくても、当社の取組みをご覧いただける環境を整備し、商談などでもこれらを活用することで、顧客獲得へのスピード化を実現。

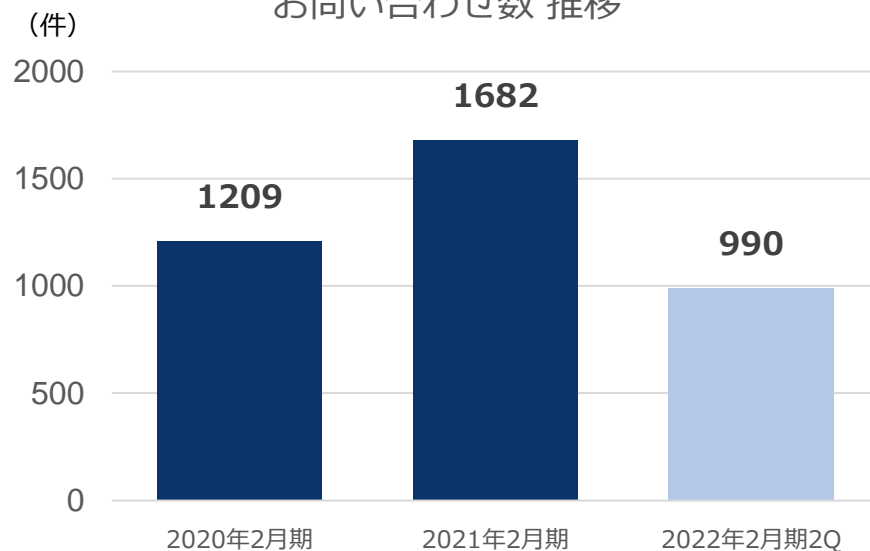
Webマーケティング

10年以上前よりインターネットを使った集客に着目し、独自ノウハウでホームページ運用を開始。直後から成果が出始め、その後SEO対策やその他改善を推進。現在は、WEB集客を内製化し、お客様のご要望に応じてWEBマーケティングのコンサルティングを提供。

参加者数 推移



お問い合わせ数 推移

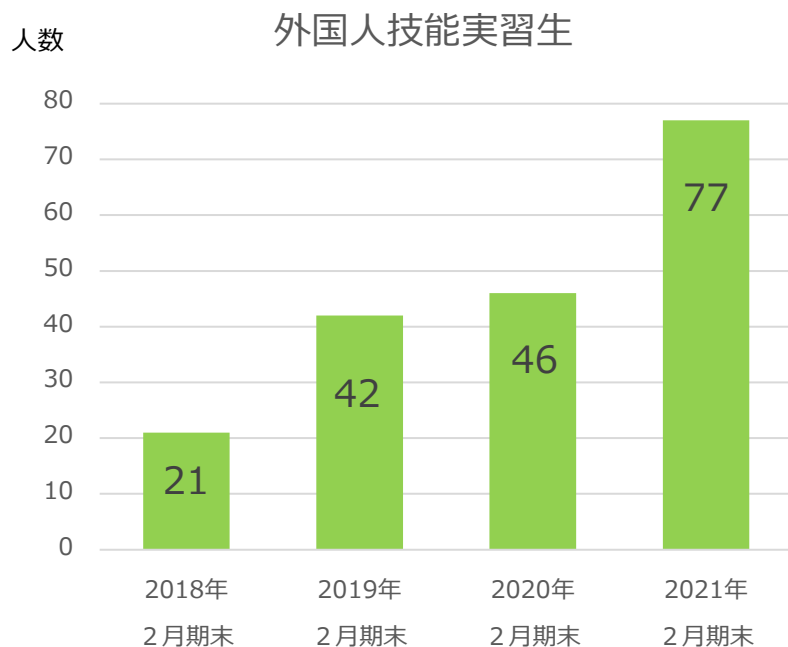


3. 雇用・人材育成・人材活用力

人材獲得だけでなく、人材教育の強化、評価制度の見直し等により、人材育成・活性化に取り組む。

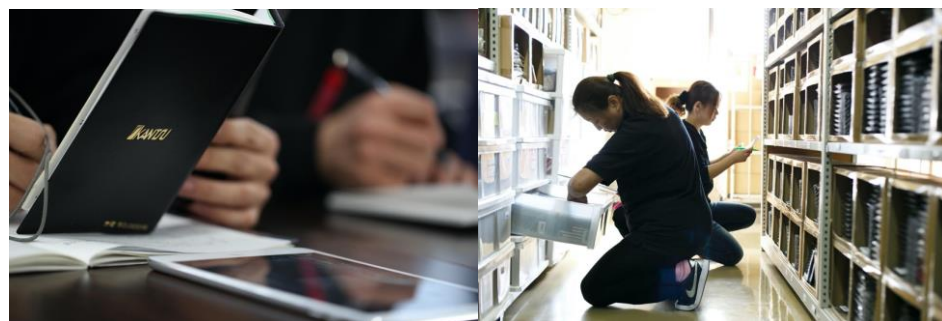
■雇用力

- ・2017年6月から受入開始
- ・外国人技能実習生は、入国前に現地で日本語教育及び職業訓練を受講。
- ・以降、毎年即戦力として受入。
- ・寮の環境を充実させ、継続的な受入体制を整備



■人材育成・活用力

- ・経営計画書
数字目標や事業構想、関通の方針ルールが書かれた従業員の教科書。
- ・環境整備
『仕事をやり易くする環境を整えて備える』活動。重点は『整理整頓』。
- ・関通大学（新卒コース・部長コース）
- ・人事評価基準書／評価シート





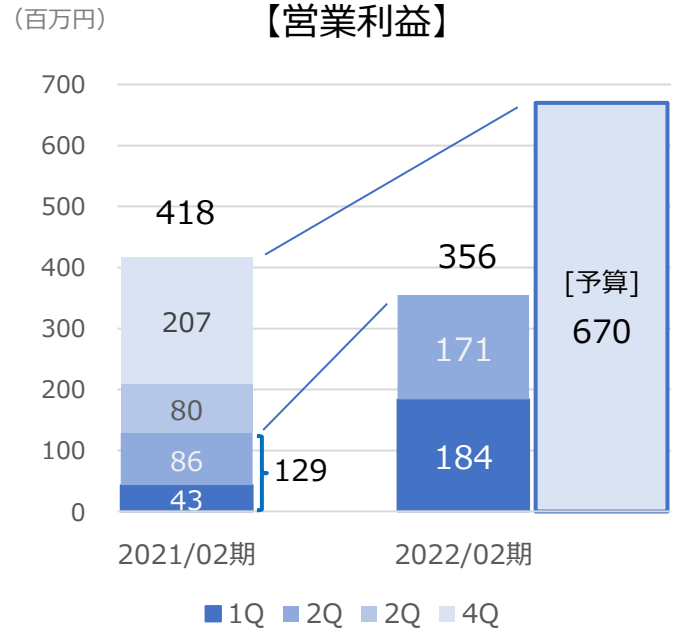
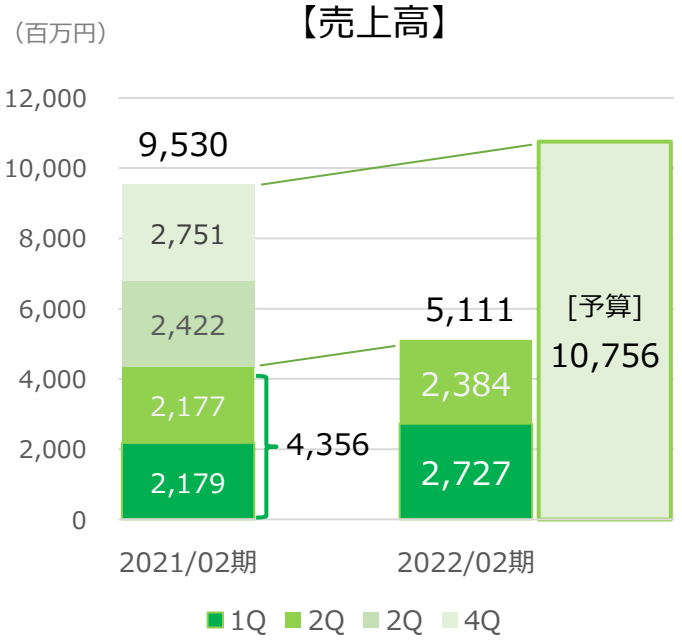
IV. 2022年2月期 第2四半期 決算概要

1. 2022年2月第2四半期決算のハイライト

・営業利益が前年同期の2.7倍に増加。

2021年4月新設のEC・通販物流センターの倉庫棟（約4,800坪）が満床。
 2021年6月新設のD2C物流センター（約5,200坪）の稼働率は約70%。

売上高	5,111	百万円	(前年同期比増減)	17.3	%増
営業利益	356	百万円	(前年同期比増減)	174.5	%増



2. 2022年2月期第2四半期業績のサマリー

物流サービス事業、ITオートメーション事業ともに、順調に売上を伸ばし増収増益。

(単位：百万円，%)

	2021/2期 第2Q		2022/2期 第2Q		前年同期比	
	累計	百分比	累計	百分比	増減額	増減率
売上高	4,356	100.0	5,111	100.0	754	17.3
売上総利益	468	10.7	769	15.0	301	64.3
販管費	338	7.8	412	8.1	74	22.0
営業利益	129	3.0	356	7.0	226	174.5
経常利益	110	2.5	334	6.5	223	202.1
四半期純利益	78	1.8	230	4.5	151	193.5
EPS (円)	9.07	—	22.91	—	—	—

* 2022/2期 第1Qから「ITオートメーション事業」を独立した報告セグメントとしたことにもない、ソフトウェア開発に係る減価償却費の見直しを行ったこと等により、2021/2期 第2Qに販管費に含めておりました減価償却費10百万円は、売上原価に組替えております。

* 2021年9月1日付で株式分割（1：3）を行っております。EPSは当該株式分割が2021/2期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

3. 四半期業績推移のサマリー

通期予算に対する進捗率は、売上高47.5%、営業利益53.1%となり、通期予算比で堅調に推移。

(単位：百万円，%)

	2021/2期				2022/2期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	累計	第2Q 予算比	通期予算 進捗率	通期予算
売上高	2,179	2,177	2,422	2,751	2,727	2,384	5,111	96.8	47.5	10,756
売上総利益	212	255	264	393	397	371	769	101.9	47.8	1,608
販管費	168	169	183	186	213	199	412	94.7	44.0	937
営業利益	43	86	80	207	184	171	356	111.6	53.1	670
経常利益	32	78	74	198	171	163	334	112.6	52.7	635
四半期純利益	23	55	55	148	117	112	230	113.4	53.7	428
EPS (円)	2.78	6.12	6.14	15.86	11.92	10.95	22.91	—	—	42.27

* 2022/2期 第1Qから「ITオートメーション事業」を独立した報告セグメントとしたこととともない、ソフトウェア開発に係る減価償却費の見直しを行ったこと等により、2021/2期 第2Qに販管費に含めておりました減価償却費10百万円は、売上原価に組替えております。

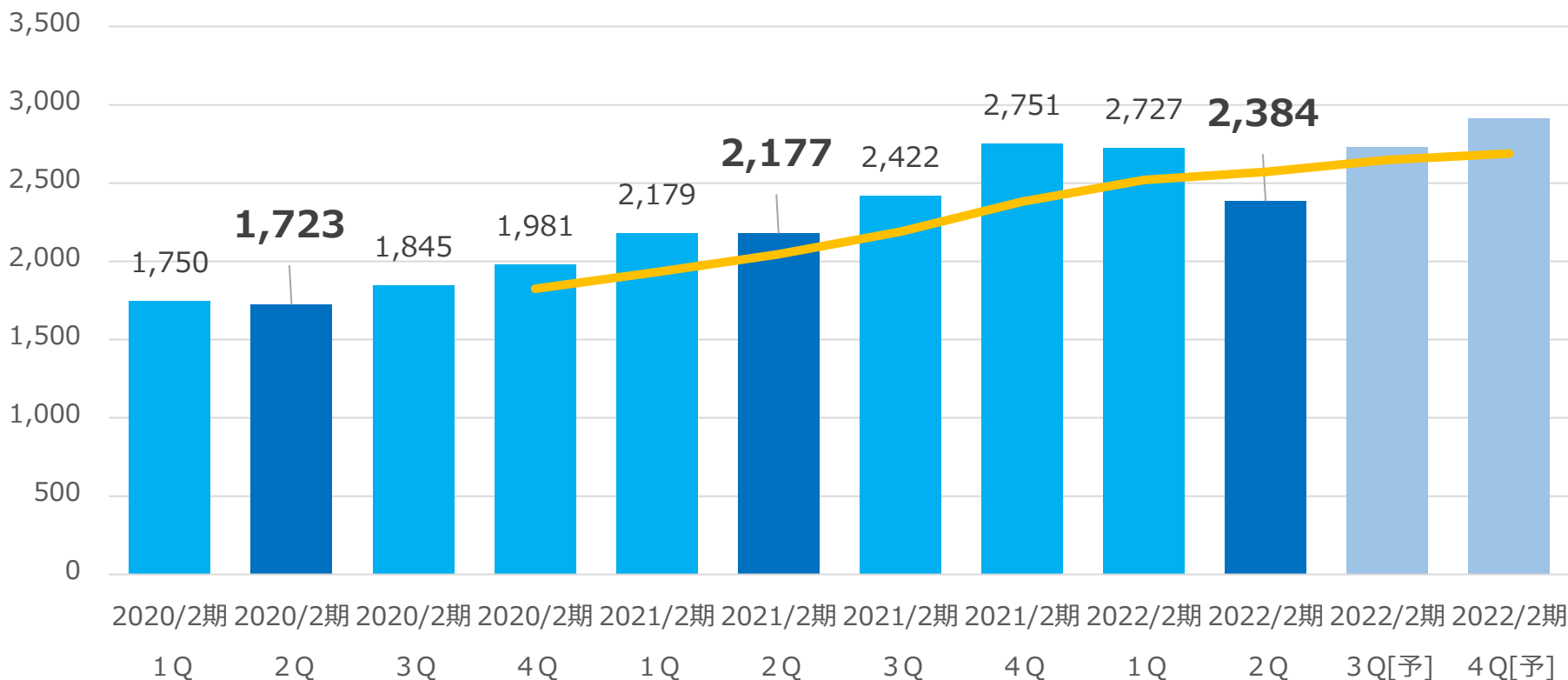
* 2021年9月1日付で株式分割（1：3）を行っております。EPSは当該株式分割が2021/2期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

3. 四半期業績推移のサマリー

四半期毎の売上高は前年同期比拡大基調で推移。

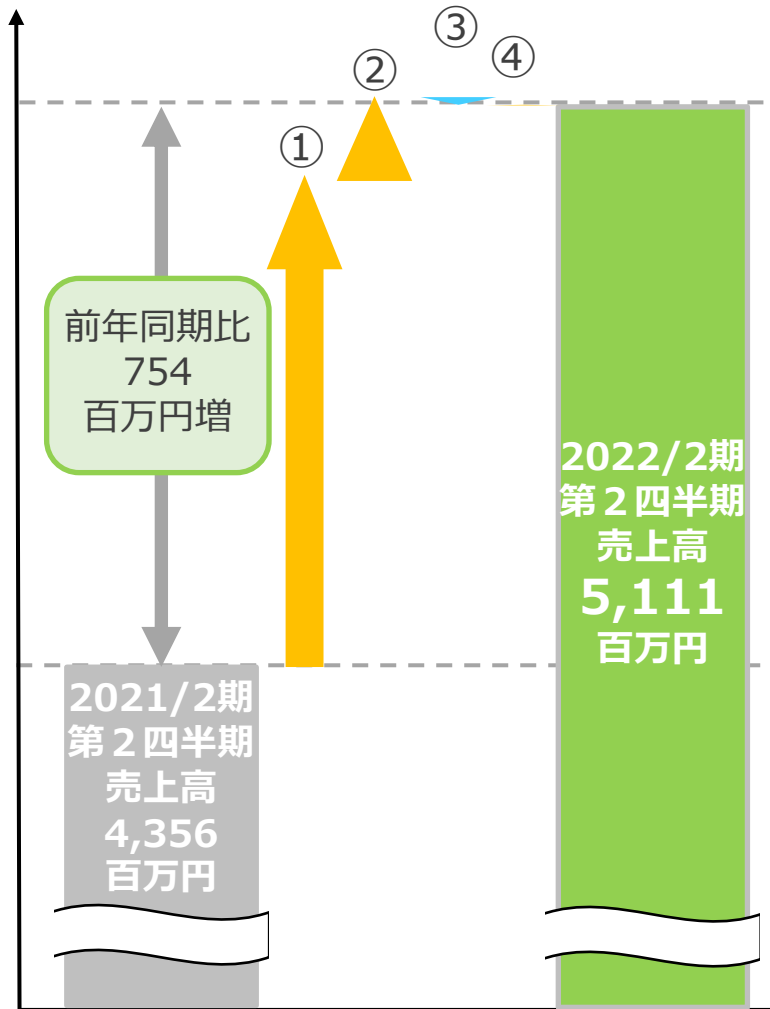
(百万円)

四半期売上高推移



* グラフ中の「」は、各四半期における直近4四半期の売上高の移動平均値を示しております。

4. 売上高の増減要因



① EC・通販物流支援サービスの増加

一部のお客様の運賃契約切替えによる売上高の減少があった一方で、前期獲得の新規お客様、第1四半期に新規導入のお客様が四半期の売上に寄与。

前年同期比 +651百万円

② ITオートメーション事業の増加

契約社数が堅調に推移したことに加え、第1四半期にクラウドトーマスの新規導入に関連して物流業務の自動化装置を販売。

前年同期比 +112百万円

③ その他物流サービスの減少

主に新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため学べる倉庫見学会を開催中止したこと等による影響。

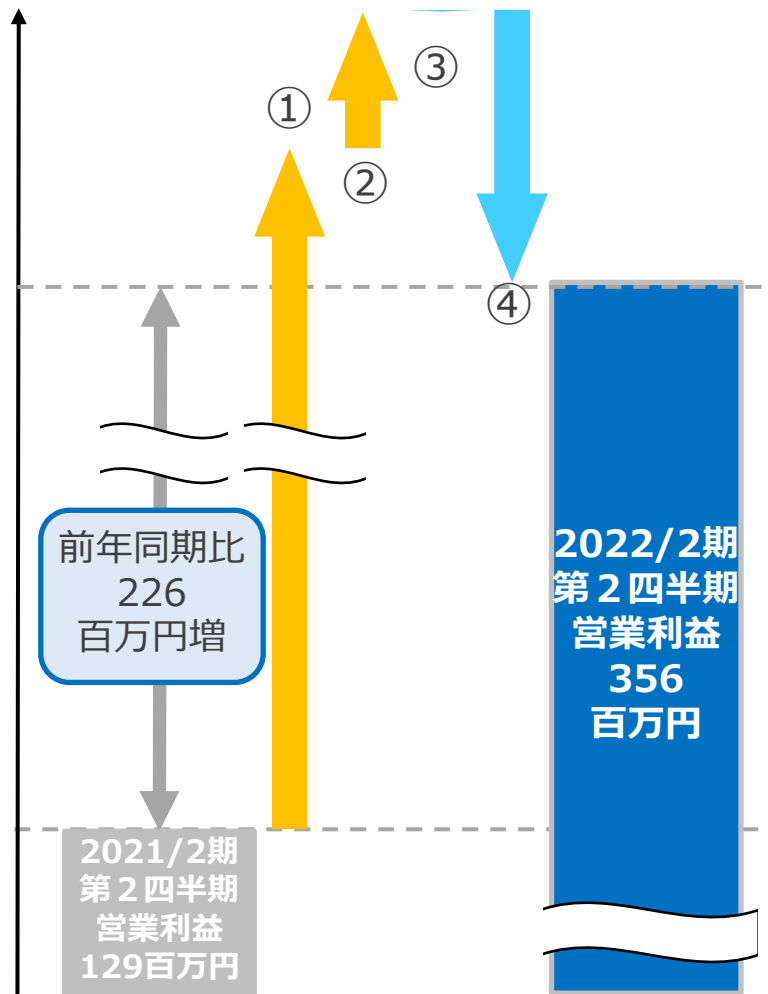
前年同期比 △7百万円

④ その他の事業の減少

主に新型コロナウイルス感染拡大により外国人技能実習生教育サービスの売上高が減少。

前年同期比 △1百万円

5. 営業利益の増減要因



①物流サービス事業の売上総利益の増加

主にEC・通販物流支援サービスに係る売上高の増加が寄与。

前年同期比 +261百万円

②ITオートメーション事業の売上総利益の増加

人員強化等の保守体制の充実を図るも、売上高の増加が寄与。

前年同期比 +39百万円

③その他の事業の売上総利益の減少

既存のサービスは堅調に推移するも、2020年12月にサービス提供を開始した障がい者向け就労移行支援サービスの費用増加で微減。

前年同期比 △0百万円

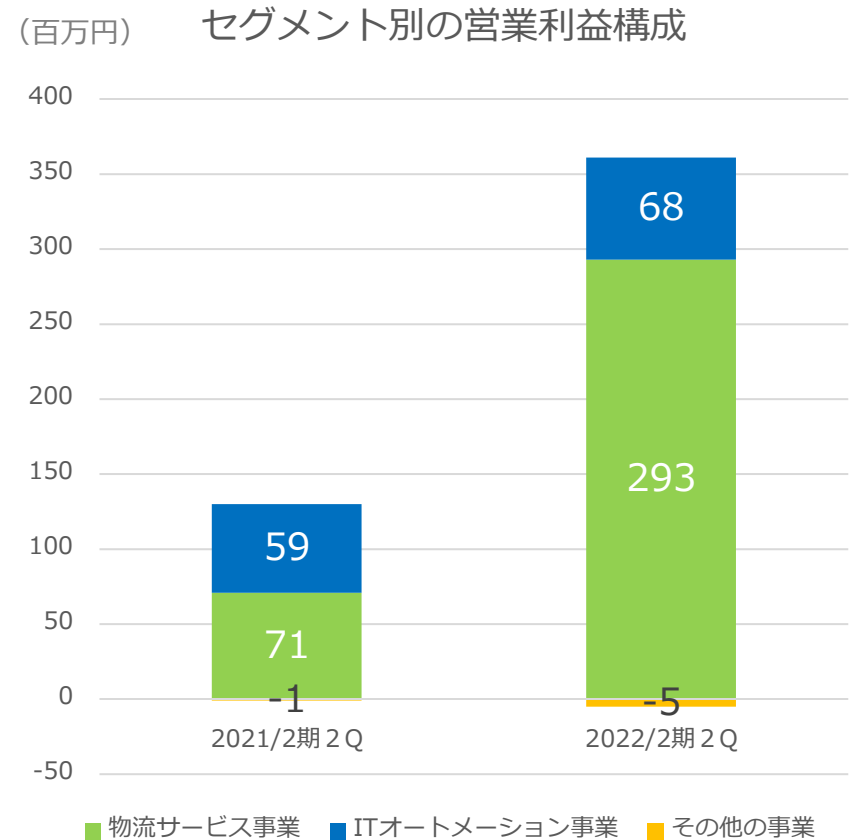
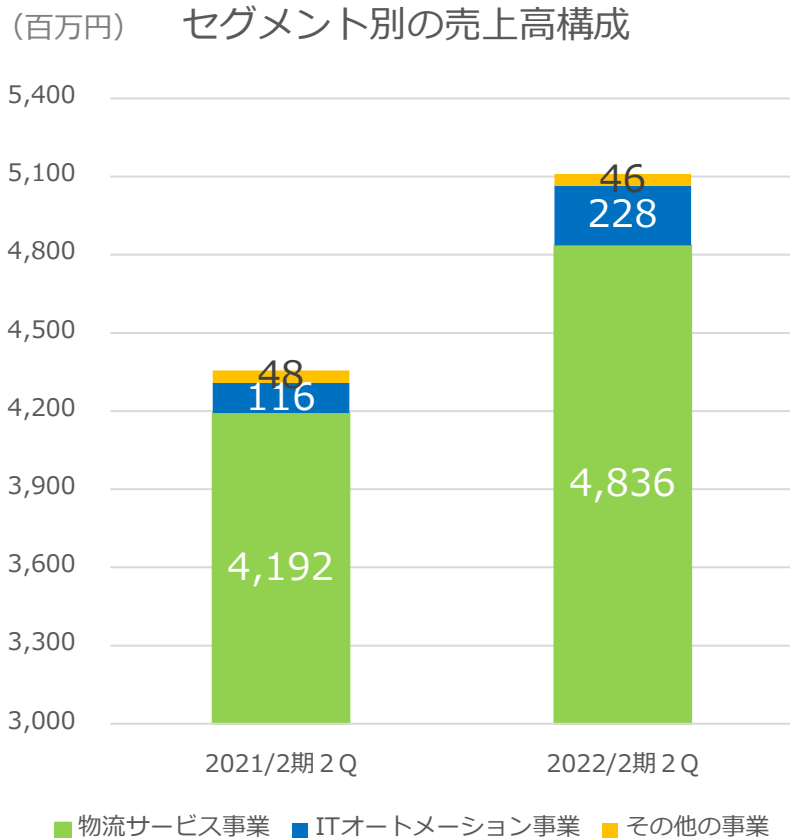
④販管費の増加 (△)

主に内部管理体制、広告宣伝の強化等による販管費の増加

前年同期比 △74百万円

6. セグメント別 (1) 全体

- 物流サービス事業、ITオートメーション事業ともに売上高が増加し、ITオートメーション事業の業績貢献度の拡大は堅調に推移。



6. セグメント別 (2)物流サービス事業

- 一部のお客様の運賃契約切替えによる売上高の減少があった一方で、前期及び第1四半期に獲得の新規お客様が四半期寄与し、売上高は前年同期比15.4%、643百万円増。
- 売上高の増加に加え、運賃契約の切替えは利益影響が僅少で利益率が改善。セグメント利益は前年同期比308.8%、221百万円増。

(単位：百万円，%)

	2021/2期第2Q		2022/2期第2Q		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
EC・通販物流支援サービス	4,099	97.8	4,750	98.2	651	15.9
受注管理業務代行サービス	49	1.2	52	1.1	2	6.0
その他	42	1.0	32	0.7	△10	△24.2
セグメント売上高	4,192	100.0	4,836	100.0	643	15.4
セグメント利益	71	1.7	293	6.1	221	308.8

* 楽天スーパーロジスティクスサービスの売上高は、EC・通販物流支援サービスの売上高に含めて記載しております。

6. セグメント別 (3)ITオートメーション事業

- クラウドトーマスの契約社数は堅調に推移し、第1四半期に新規導入に関連して物流業務の自動化機器を販売したこと等で、売上高は前年同期比96.2%、112百万円増。
- 自動化機器の販売で原価率が上昇したほか、昨年、トーマスProをリリースし、またサポート体制の強化するも、セグメント利益は前年同期比16.2%、9百万円増。

(単位：百万円, %)

	2021/2期第2Q		2022/2期第2Q		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
クラウドトーマス	68	58.8	174	76.4	106	155.0
その他	48	41.2	53	23.6	5	12.1
セグメント売上高	116	100.0	228	100.0	112	96.2
セグメント利益	59	50.8	68	30.1	9	16.2

6. セグメント別 (4)その他の事業

- 外国人技能実習生教育サービスは、新型コロナウイルスの感染拡大等により、新規のサービス提供ができず減少となるも、その他教育サービスは2020年12月にサービス提供を開始した発達障がい者向け就労移行支援サービスを含め堅調に推移し、売上高は前年同期比微減。
- 発達障がい者向け就労移行支援サービスの提供開始による費用増加で、営業利益は前年同期比4百万円減。

(単位：百万円，%)

	2021/2期第2Q		2022/2期第2Q		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
外国人技能実習生 教育サービス	13	28.3	5	12.3	△7	△58.0
その他教育サービス	34	71.7	41	87.7	6	19.0
セグメント売上高	48	100.0	46	100.0	△1	△2.8
セグメント利益	△1	-	△5	-	△4	-

7. 要約貸借対照表

	2021/2期末		2022/2期第2Q末		前期比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	4,142	55.0	4,456	54.4	314
現金・預金	2,592	34.4	2,984	36.4	391
売上債権	1,256	16.7	1,036	12.6	△219
その他	293	3.9	435	5.3	142
固定資産	3,390	45.0	3,741	45.6	350
有形固定資産	2,326	30.9	2,470	30.1	144
無形固定資産	259	3.5	293	3.6	33
投資その他資産	804	10.7	977	11.9	172
資産合計	7,532	100.0	8,197	100.0	664
流動負債	1,836	24.4	1,624	19.8	△211
仕入債務	472	6.3	270	3.3	△201
有利子負債	817	10.9	803	9.8	△13
その他	546	7.3	550	6.7	4
固定負債	4,101	54.4	4,080	49.8	△20
有利子負債	3,867	51.3	3,820	46.6	△46
その他	234	3.1	260	3.2	25
負債合計	5,937	78.8	5,705	69.6	△232
純資産合計	1,595	21.2	2,491	30.4	896
負債純資産合計	7,532	100.0	8,197	100.0	664

(単位：百万円，%)

新株予約権の行使等による増加

物流センターの新設による差入保証金等の増加

2021/2期末が休日であったことによる影響
発送運賃等の減少にともなう減少

新株予約権の行使等による増加

8. キャッシュ・フロー計算書等

【キャッシュ・フローの概要】

(単位：百万円)

	2021/2期		2022/2期	
	2Q累計	4Q累計	2Q累計	主な要因
営業キャッシュ・フロー	39	187	420	税引前当期純利益の計上等
投資キャッシュ・フロー	△292	△650	△627	物流センター新設に伴う設備導入、敷金の支出等
財務キャッシュ・フロー	295	675	591	新株予約権の行使等
現金・現金同等物期末残高	2,231	2,400	2,785	

【設備投資／減価償却費】

(単位：百万円)

	2021/2期		2022/2期	
	1Q累計	2Q累計	1Q累計	2Q累計
設備投資（固定資産）	102	379	284	638
減価償却費（総額）	52	108	70	143

9. 設備投資の状況

【設備投資計画・実績】

(2021年8月31日現在) (単位:百万円)

投資対象	目的	投資 予定額	既払金	着手完了 予定年月
東京主管センター開設 (埼玉県和光市)	既存のお客様の増床、新規の お客様の導入に対応。 [約3,400坪]	184	146	2019/12~ 2021/10
D2C物流センターの開設 (兵庫県尼崎市)	既存のお客様の増床、新規の お客様の導入に対応。 [約5,200坪]	265	152	2021/05~ 2022/02
物流センターへの物流口 ボットの導入	物流口ボット、及び自動化機 器導入の横展開。	400	33	2021/03~ 2022/02
ソフトウェアの開発	倉庫管理システム「クラウド トーマス」の機能強化等。	300	65	2021/03~ 2023/02
物流センターの新設 (兵庫県尼崎市 1施設) (埼玉県新座市 1施設)	既存のお客様の増床、新規の お客様の導入に対応。 [2施設で約13,900坪]	747	325	2021/03~ 2023/02
冷凍冷蔵設備の新設 (埼玉県新座市)	冷凍冷蔵商品のEコマースを 展開する新規のお客様の導入 に対応。	640	—	2022/02~ 2022/04

既払金の内訳
敷金 133百万円
その他 12百万円

既払金の内訳
敷金 139百万円
その他 13百万円

既払金の内訳
自動化機器 33百万円

既払金の内訳
敷金 227百万円
冷凍冷蔵設備 57百万円
その他 40百万円



V. 2022年2月期 業績予想

1. 2022年2月期 業績予想

- 売上高は前期比12.9%増、営業利益60.4%増と増収増益の見通し。

(単位：百万円, %)

	2021/2期 実績		2022/2期 予想		前期比	
	実績	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	9,530	100.0	10,756	100.0	1,226	12.9
売上総利益	1,126	11.8	1,608	15.0	482	42.9
販管費	707	7.4	937	8.7	229	32.5
営業利益	418	4.4	670	6.2	252	60.4
経常利益	383	4.0	635	5.9	251	65.7
当期純利益	283	3.0	428	4.0	145	51.5
EPS (円)	31.66	—	42.27	—	—	—

* 2021年9月1日付で株式分割（1：3）を行っております。EPSは当該株式分割が2021/2期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

2. セグメント別(1)物流サービス事業

- EC・通販物流支援サービスは引続き市場拡大する中、兵庫県尼崎市に2件の物流センターを新設し、約10,800坪を増床。
- 一部のお客様の契約切替えにより運賃売上が予算上の通期売上高見込額で約800百万円減少する見込み（各段階利益への影響額は僅少）である一方で、前期及び当期の新規のお客様に対する売上高として約1,500百万円を見込む。（単位：百万円，％）

		2021/2期		2022/2期		前期比	
		実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
EC・通販物流支援サービス		8,968	98.1	10,115	98.3	1,146	12.8
受注管理業務代行サービス		92	1.0	111	1.1	18	19.7
その他		85	0.9	66	0.6	△19	△22.8
セグメント売上高		9,146	100.0	10,292	100.0	1,145	12.5

* 楽天スーパーロジスティクスサービスの売上高は、EC・通販物流支援サービスの売上高に含めて記載しております。
 * ソフトウェア販売・利用サービスは、2022/2期 第1四半期から、報告セグメントを「ITオートメーション事業」として独立して開示するため、2021/2期に遡及して物流サービス事業から同サービスを除いて表示しております。

2. セグメント別(2)ITオートメーション事業

- 倉庫管理システム「クラウドトーマス」に加え、より一層、お客様のニーズ・規模に応じた個別カスタマイズが可能な「クラウドトーマスPro」をラインアップすることで、お客様層の拡大を図る。
- クラウドトーマスの業績予想は保守的にカスタマイズ売上を見込まずも、売上高は前期比20.8%、42百万円増の見通し。

(単位：百万円，%)

	2021/2期		2022/2期		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
クラウドトーマス	202	68.2	244	70.1	42	20.8
その他	94	31.8	104	29.9	10	10.6
セグメント売上高	297	100.0	349	100.0	52	17.6

*ITオートメーション事業における2021/2期実績の数値は、物流サービス事業におけるソフトウェア販売・利用サービスの実績数値を用いております。

2. セグメント別 (3)その他の事業

- 外国人技能実習生教育サービスで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ミャンマーの政情不安の影響が予想される一方で、昨年度新設の発達障がい者向け就労移行支援サービスが売上に貢献する見込みで、その他の事業の売上高は前期比33.1%、28百万円増の見通し。

(単位：百万円, %)

	2021/2期		2022/2期		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
外国人技能実習生 教育サービス	19	22.0	10	9.4	△8	△43.3
その他教育サービス	67	78.0	104	90.6	36	54.7
セグメント売上高	86	100.0	115	100.0	28	33.1



VI. 中期経営計画 － 2024 －

1. 中期経営計画の概要

- EC市場の市場規模の増加率を上回る成長により、2024年2月期は売上高153億円、営業利益10億円を実現する。
(単位：百万円，%)

	2022/2期			2023/2期			2024/2期		
	計画	百分比	前期比 増減率	計画	百分比	前期比 増減率	計画	百分比	前期比 増減率
売上高	10,756	100.0	12.9	13,105	100.0	21.8	15,370	100.0	17.3
売上総利益	1,608	15.0	42.9	1,833	14.0	14.0	2,280	14.8	24.4
販管費	937	8.7	32.5	1,036	7.9	10.5	1,184	7.7	14.3
営業利益	670	6.2	60.4	796	6.1	18.8	1,095	7.1	37.6
経常利益	635	5.9	65.7	750	5.7	18.1	1,050	6.8	40.0
当期純利益	428	4.0	51.5	506	3.9	18.1	708	4.6	40.0
ROE	15.0%以上		—	15.0%以上		—	15.0%以上		—

2. セグメント別中期計画

- 物流サービス事業は、物流センターの拡充、物流ロボット等の自動化機器への設備投資により、EC市場の市場規模の増加率を上回る成長を図る。
- ITオートメーション事業は、クラウドトーマスを中心にソフトウェア投資を推進し、販売活動におけるアライアンスの推進等により、ITベンダーとしての地位を確立する。

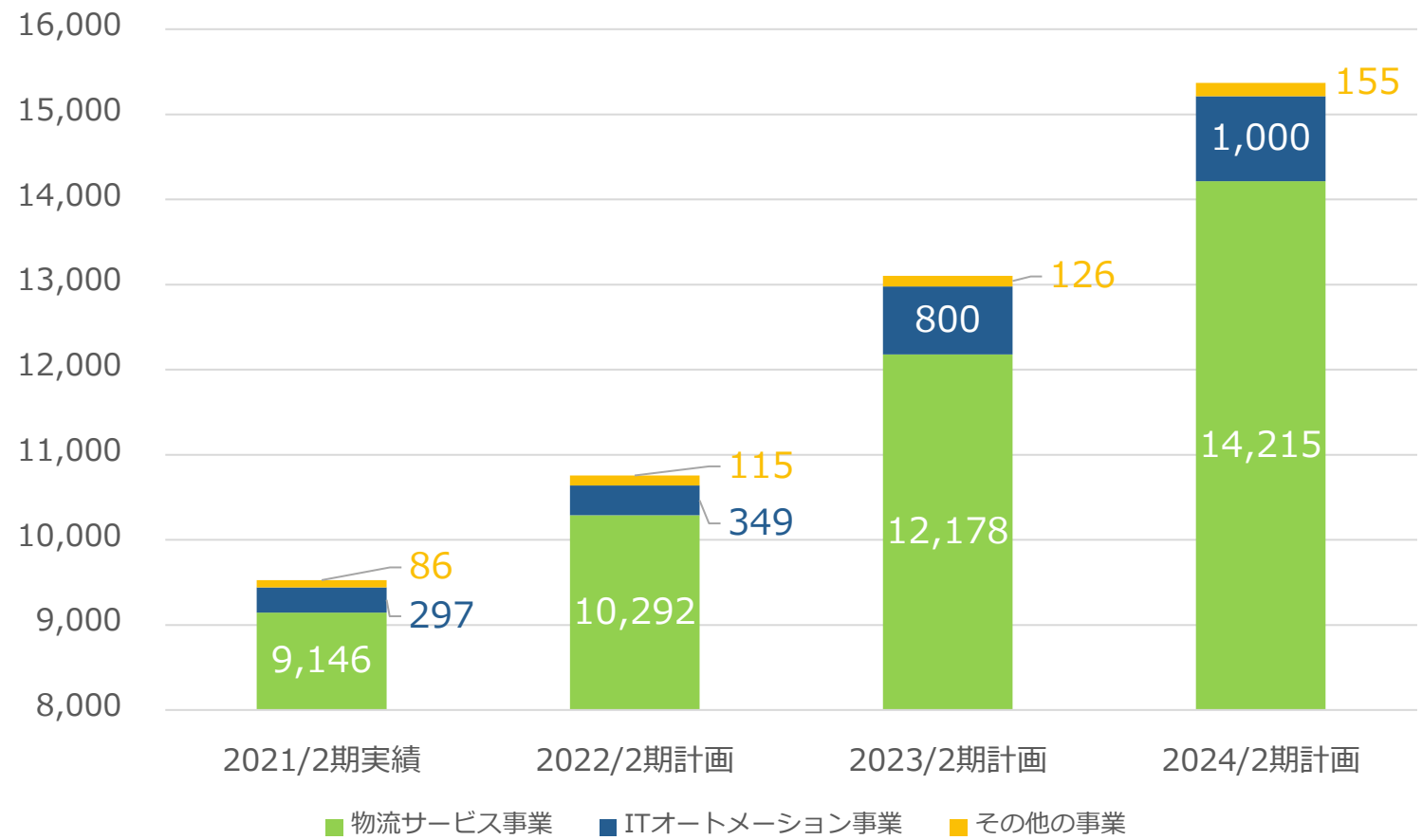
(単位：百万円，%)

	2022/2期			2023/2期			2024/2期		
	計画	百分比	前期比増減率	計画	百分比	前期比増減率	計画	百分比	前期比増減率
物流サービス事業	10,292	95.7	12.5	12,178	92.9	18.3	14,215	92.5	16.7
ITオートメーション事業	349	3.2	17.6	800	6.1	129.1	1,000	6.5	25.0
その他の事業	115	1.1	33.1	126	1.0	10.1	155	1.0	22.5
売上高	10,756	100.0	12.9	13,105	100.0	21.8	15,370	100.0	17.3
売上総利益	1,608	15.0	42.9	1,833	14.0	14.0	2,280	14.8	24.4

2. セグメント別売上高計画推移

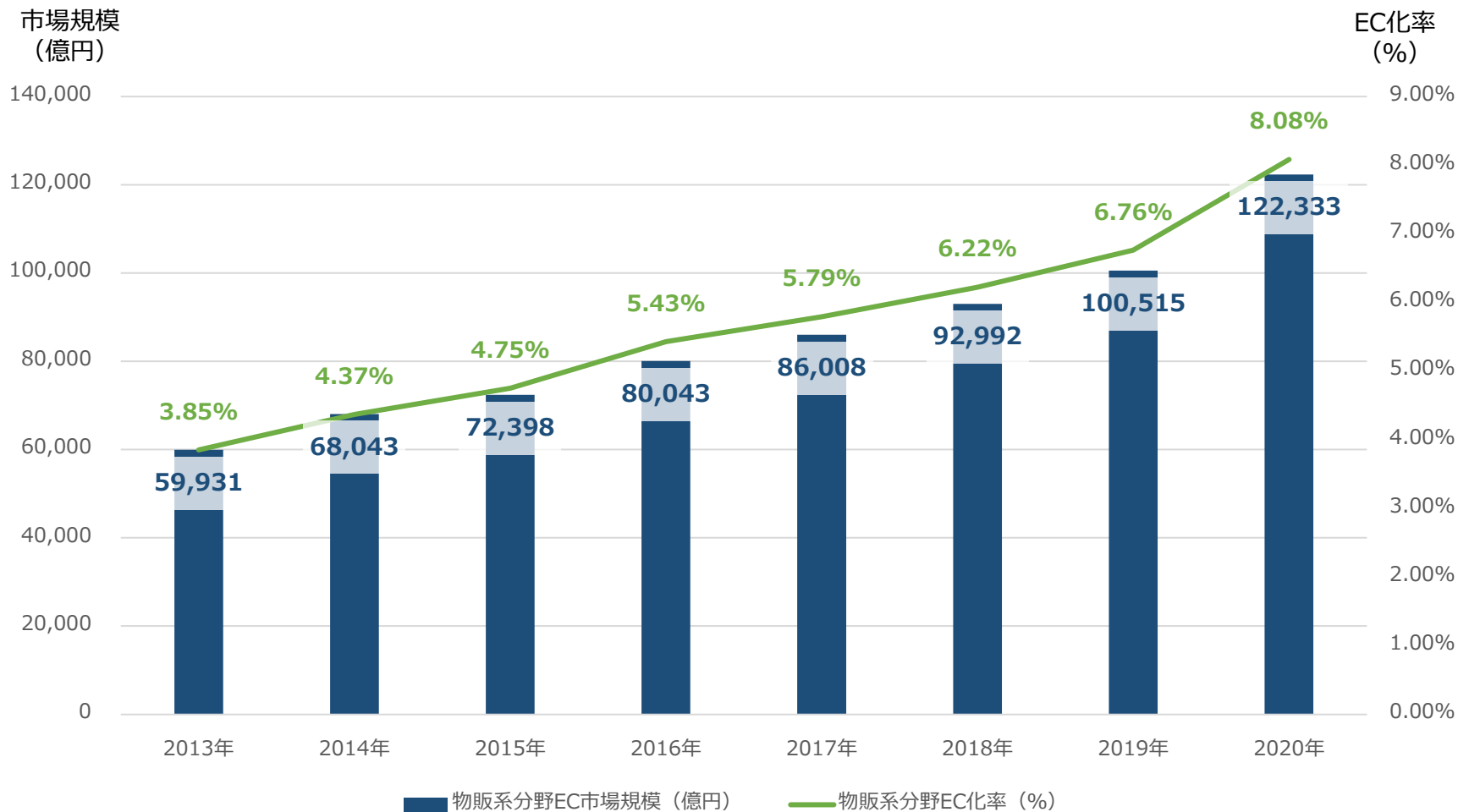
- 2024年2月期には、物流サービス事業の売上高142億円、ITオートメーション事業の売上高10億円を実現する。

(単位：百万円)



3. 市場環境

引き続き物販系分野のEC市場は高い成長を予想



(出典) 経済産業省 令和2年度「産業経済研究委託事業（電子商取引に関する市場調査）」

3. 市場環境

当社の顧客構成比で高い比率を占める物販系分野の市場規模はなお成長中

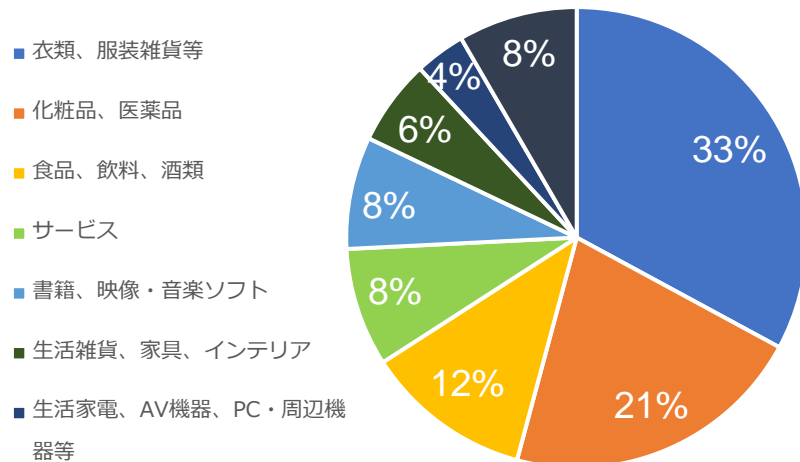
BtoC-ECの市場規模および各分野の構成比率

	2019年	2020年	伸び率
A. 物販系分野	10兆515億円 (EC化率 6.76%)	12兆2,333億円 (EC化率 8.08%)	21.71%
B. サービス系分野	7兆1,672億円	4兆5,832億円	△36.05%
C. デジタル系分野	2兆1,422億円	2兆4,614億円	14.9%
総計	19兆3,609億円	19兆2,779億円	△0.43%

物販系分野の商品毎BtoC-ECの市場規模

分類	2019年		2020年	
	市場規模 (億円) ※下段：昨年比	EC化率 (%)	市場規模 (億円) ※下段：昨年比	EC化率 (%)
1 食品、飲料、酒類	18,233 (7.77%)	2.89%	22,086 (21.13%)	3.31%
2 生活家電、AV機器、PC・周辺機器等	18,239 (10.76%)	32.75%	23,489 (28.79%)	37.45%
3 書籍、映像・音楽ソフト	13,015 (7.83%)	34.18%	16,238 (24.77%)	42.97%
4 化粧品、医薬品	6,611 (7.75%)	6.00%	7,787 (17.79%)	6.72%
5 生活雑貨、家具、インテリア	17,428 (8.36%)	23.32%	21,322 (22.35%)	26.03%
6 衣類・服装雑貨等	19,100 (7.74%)	13.87%	22,203 (16.25%)	19.44%
7 自動車、自動二輪車、パーツ等	2,396 (2.04%)	2.88%	2,784 (16.17%)	3.23%
9 その他	5,492 (4.79%)	1.54%	6,423 (16.95%)	1.85%
合計	100,515 (8.09%)	6.76%	122,333 (21.71%)	8.08%

[ご参考] 当社の業種別売上高構成比 (2022年2月期2Q実績)



※2022年2月期第2四半期実績の売上高上位100社から算出。
 ※ 楽天スーパーロジスティクスサービスは「サービス」に分類。

(出典) 経済産業省 令和2年度「産業経済研究委託事業
 (電子商取引に関する市場調査)」

4. 成長戦略

1 大型冷凍冷蔵倉庫の新設

- 市場拡大が期待される冷凍冷蔵食品のEコマース向け物流サービスの強化
2022年1月予定 自動倉庫 冷凍1,050パレット（常温1,323パレット）
EC通販物流センター [兵庫県尼崎市]
- 2022年4月予定 2,329.33坪 関東新物流センター [仮称、埼玉県新座市]

2 ITベンダーとしての躍進

- 倉庫管理システム「クラウドトーマス」のバージョンアップによる機能強化
2021年2月期 「クラウドトーマス Pro」をラインアップ
中・大規模案件への導入推進のためカスタマイズ対応を強化
- 販売活動のアライアンスの推進

3 ラストワンマイルのサービス構築

- ラストワンマイルの課題を解決するサービスの構築を推進

5. 成長戦略を支える内部戦略

1 WEB活用によるお客様獲得の強化

- SEO対策、広告戦略、リモート商談による効果的なお客様獲得の追求

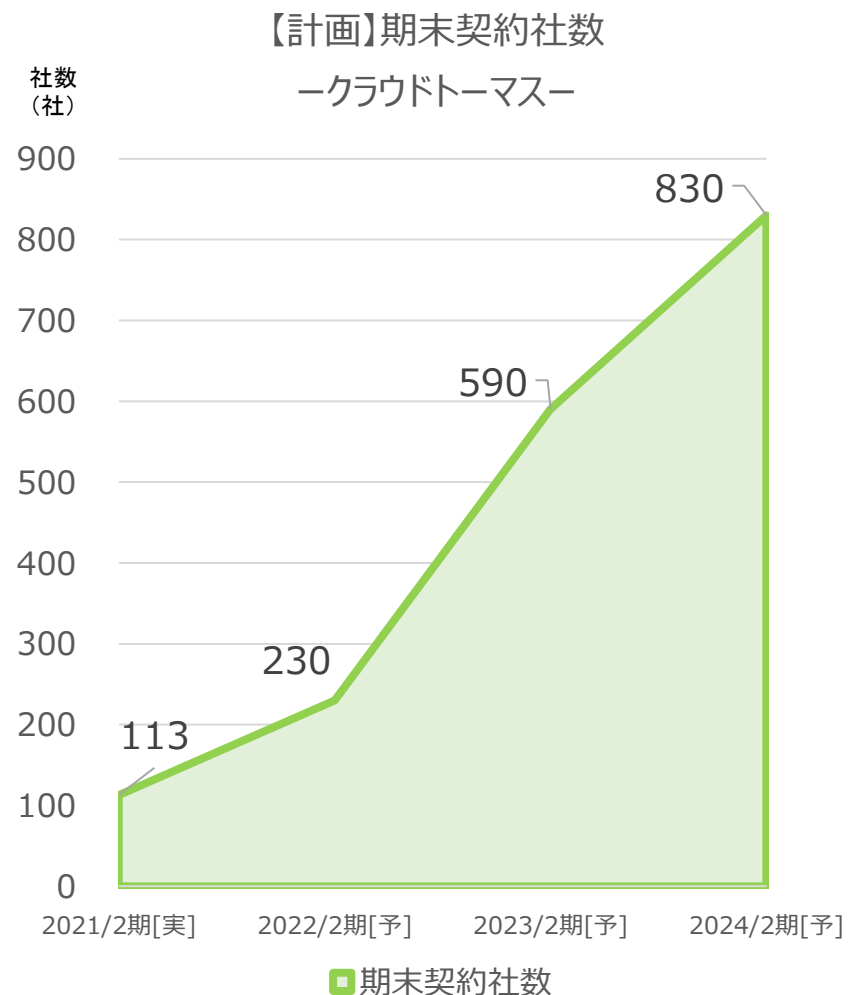
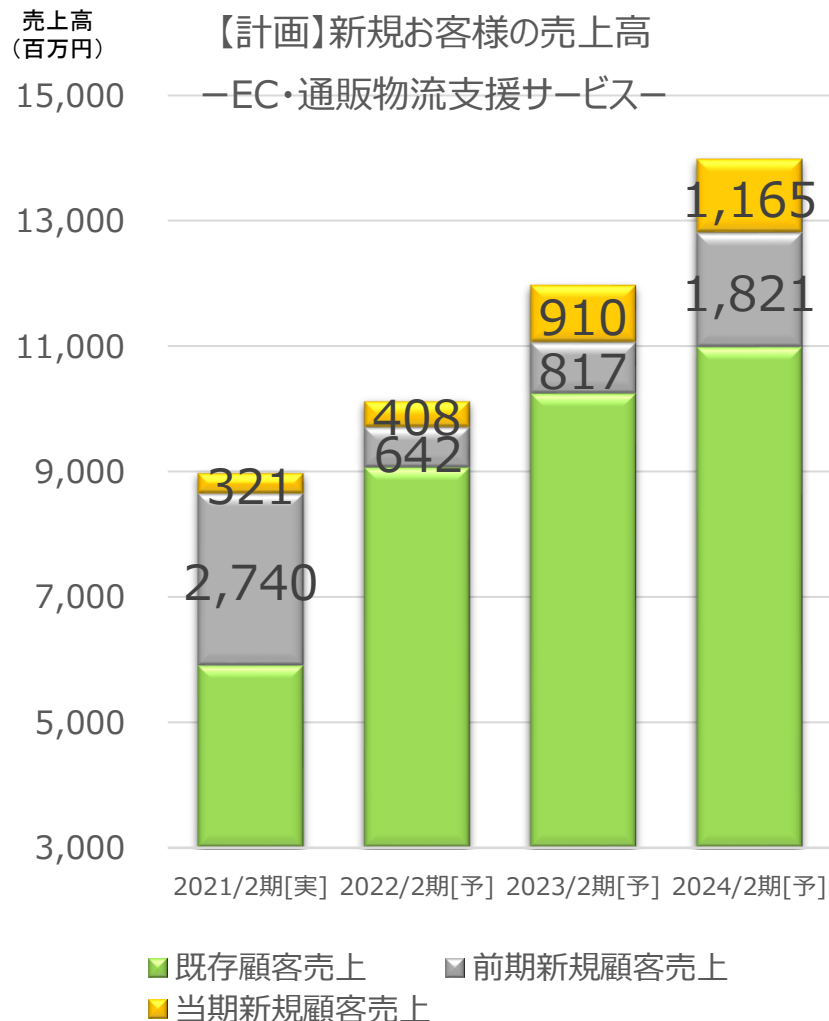
2 物流自動化機器・システム導入による効率化

- 物流自動化機器・システムの導入による生産性向上
- 新WMS（クラウドトーマス）との連携機能強化
- 成功事例の積み上げ

3 人材の確保と育成

- 外国人雇用（外国人技能実習生を含む。）の強化
- 経営計画書、環境整備活動を軸とした人材育成
- 物流ロボットの導入による作業負担軽減

6. KPI [新規お客様の獲得]

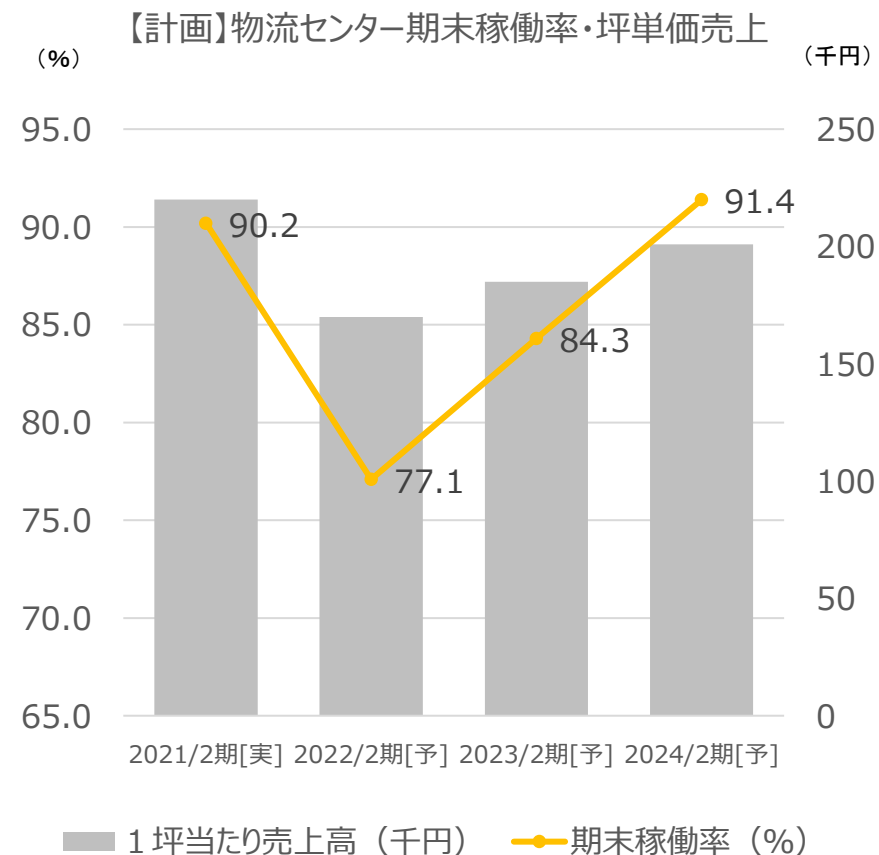
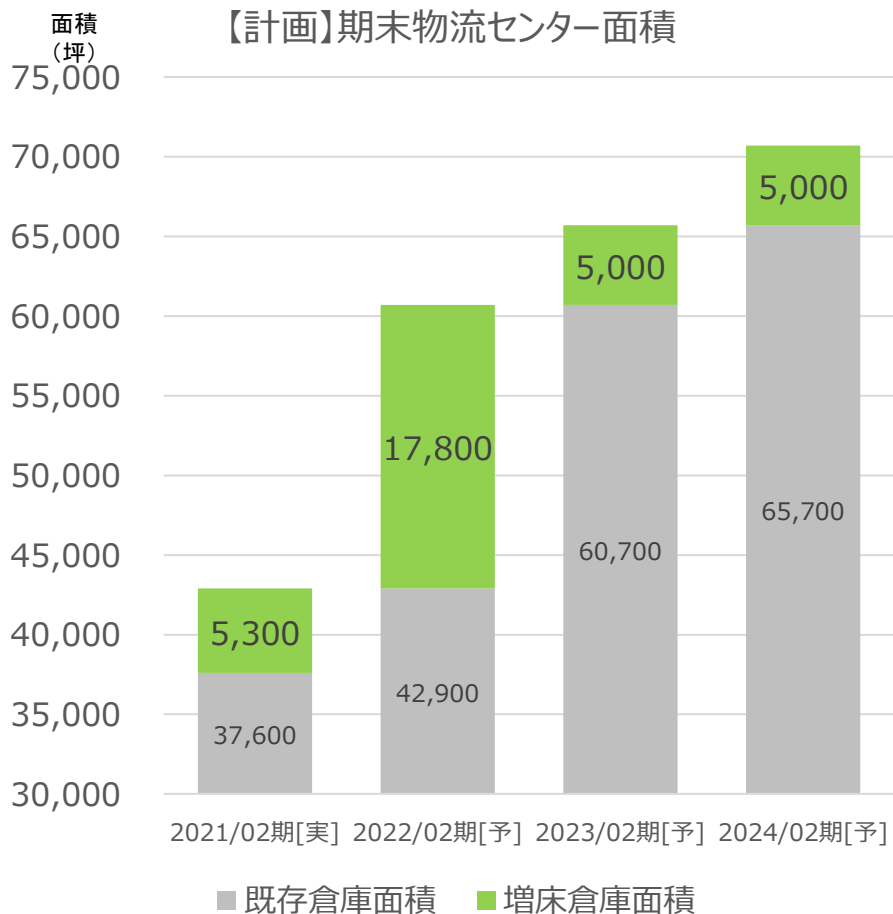


※EC・通販物流支援サービスの売上高を表示

6. KPI【規模の拡大・効率】

- 期末2022/02に埼玉県新座市に8,300坪の物流センターを新設予定（前倒しでの新設）

- 期末の2022/02に埼玉県新座市に8,300坪の物流センターを新設予定のため、一時的に1坪当たり売上高、稼働率が低下するも、徐々に上昇の見通し





[ご参考] **SDGs への取組み**

[ご参考] SDGs への取り組み

区分	取り組み内容	具体的活動
デジタルトランスフォーメーション	<p>物流に関連したICTスキルを伸ばす意欲のある国内外の若者をソフトウェア開発者または物流現場のICT技術導入技術者として雇用し、物流現場のICT技術を活用した管理手法、ソフトウェア開発及びこれに附帯する業務に取り組むことで、新しい物流現場の管理手法及びICTスキルの習得を図っています。また、産学連携による取り組み等による物流におけるシステム、ソフトウェアの研究および開発を進めています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流ロボット・RPA導入 ● 早稲田大学創造理工学部経営システム工学科吉本研究室との産学連携 ● マレーシア日本国際工科院との産学連携 ● 社内キャリアアップ制度
環境保護	<p>物流で使用する資材のリサイクルに努め、倉庫管理システム「クラウドトーマス」を利用したペーパーレス化のほか、請求書及び契約書のペーパーレス化等も推進しています。また、物流センターへのLED照明導入等による省エネを推進する等、環境問題をはじめとする持続可能性（サステナビリティ）をめぐる課題に対する対応が、当社の持続的な成長を支える基礎となるよう、その体制構築に努めています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 梱包資材のリサイクル ● LED照明設置 ● 請求書ペーパーレス化 ● 契約書のペーパーレス化

関連するSDGs

9 産業と技術革新の基盤をつくる



17 パートナーシップで目標を達成しよう



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



12 つくる責任 つかう責任



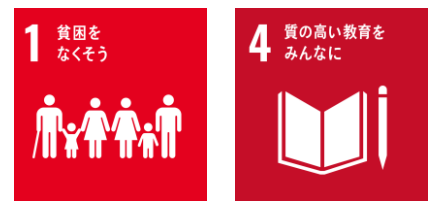
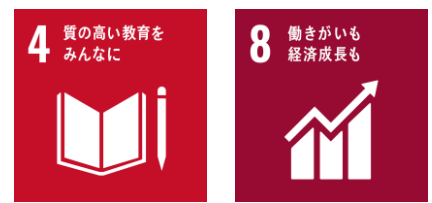
13 気候変動に具体的な対策を



[ご参考] SDGs への取組み

区分	取り組み内容	具体的活動
福祉と教育	<p>障がいをお持ちのお子様向け教育事業として、放課後等デイサービスの教室を運営し、発達障害を抱える児童の学童保育と呼ばれる放課後デイサービスを通じて発達に課題を抱えるお子さまの成長と自立をサポートしております。また、障がいをお持ちの方向けの就労移行支援事業所を運営し、一般企業への就職を目指す発達障がいをお持ちの方に、就職に必要な知識やスキル向上のサポートをしております。そのほか、企業主導型保育事業として保育園を運営しており、地域と積極的に関わりながら教育に取り組んでいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 放課後等デイサービスの運営 ● 就労移行支援事業所の運営 ● 企業主導型保育園運営
ダイバーシティ	<p>ソフトウェア開発者としての外国人雇用、物流現場での外国人技能実習生の継続的な受け入れに加え、物流におけるシステム、ソフトウェアの研究及び開発のための研究機関「UTロボティクス研究所」をマレーシア日本国際工科院内に開設し、新しい技術導入の促進及び関連人材の雇用支援を図っています。また当社では、女性幹部を積極的に登用するほか、障がい者雇用についても積極的に推進しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人雇用の推進 ● マレーシア日本国際工科院との産学連携 ● 女性管理職比率 2020年2月末:26.3% 2021年2月末:34.5% ● 障がい者雇用率 2020年度:3.18% 2021年度:6.29% ● 育児休業取得率 2020年2月期 取得率:100% 2021年2月期 取得率:100%

関連するSDGs



免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載の内容に重要な変動が生じた場合は、本資料を更新・修正することがあります。



【お問合せ先】
株式会社関通 IR担当
お問合せについては、IR専用フォームをご利用ください。
URL : <https://www.kantsu.com/>

IR専用フォーム

